

## 6 定期点検整備基準値

定期点検整備基準値 .....	6-2
エンジン関係 .....	6-2
シャシー関係 .....	6-4
定期点検作業要領 .....	6-6
減速時排気ガス減少装置の機能 (4S-FE, 1G-FE, 1JZ-GE, 2JZ-GE, 1JZ-GTE) .....	6-6
排気ガス再循環装置の機能 (2L-TE) .....	6-6

## 定期点検整備基準値

## エンジン関係

(1/2)

項 目		エンジン型式		4S-FE	1G-FE	2L-TE
		たわみ量 [mm]	新品時 点検時	—	11~13 14~18	7~10 10~14
Vベルト たわみ量 および張力 (押力98N {10kgf})	オルタネーター ベルト (2L-TEは 1本当たり)	張力 [N {kgf}]	新品時	—	540~635 {55~65}	440~540 {45~55}
			点検時	—	245~390 {25~40}	195~345 {20~35}
		たわみ量 [mm]	新品時	6~9	7~8.5	13~17
			点検時	9~11	←	17~21
	A/Cベルト	張力 [N {kgf}]	新品時	690~780 {70~80}	540~635 {55~65}	440~540 {45~55}
			点検時	440~540 {45~55}	295~390 {30~40}	195~345 {20~35}
		たわみ量 [mm]	新品時	8~9	5.5~7	8~10
			点検時	9~14	7~9	10~15
	P/Sベルト	張力 [N {kgf}]	新品時	440~540 {45~55}	←	←
			点検時	195~340 {20~35}	←	←
	バッテリー液比重 (液温20℃)		基準値	1.25~1.29	←	←
			液槽差	0.04未満	←	←
点火時期 [°BTDC] / [r/min]	T <sub>11</sub> ↔E <sub>1</sub> (4S-FE) T <sub>c</sub> ↔E <sub>1</sub> 1G-FE 端子間短絡	M/T	—	8~12/700±50	—	
		A/T	8~12/650±50	8~12/650±50	—	
	T <sub>11</sub> ↔E <sub>1</sub> (4S-FE) T <sub>c</sub> ↔E <sub>1</sub> 1G-FE 端子間開放	M/T	—	7~24/700±50	—	
		A/T	10~20/650±50	7~24/650±50	—	
噴射時期 (TDC 静止) プランジャーリフト量 [mm]			—	—	刻線合わせ	
噴射圧力 [MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }]			—	—	14.22~15.20 {145~155}	
アイドル回転数 (Nレンジ, 無調整式) [r/min]		M/T	—	650~750	650~700	
		A/T	600~700	←		
アイドルCO濃度 [%]			1.0以下	←	—	
アイドルHC濃度 [ppm]			800以下	←	—	
ディーゼルスモーク濃度 [%]			—	—	40以下	
バルブクリアランス (冷間時) [mm]		IN	0.19~0.29	0.15~0.25	0.20~0.30	
		EX	0.28~0.38	0.25~0.35	0.40~0.50	
シリンダーヘッド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]			※1	63.7 {650}	※1	
インタークマニホールド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]			※2	17.7 {180}	※2	
エキゾーストマニホールド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]			49 {500}	25.5 {260}	※2	
圧縮圧力 (250r/min時) [MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }]		基準値	1.23~ {12.5}	1.27 {13.0}	3.04 {31.0}	
		限度	0.98 {10.0}	←	1.96 {20.0}	
		気筒差	0.098 {1.0} 以下	←	0.49 {5.0} 以下	
スパークプラグギャップ [mm]		基準値	1.0~1.1	←	—	
		限度	—	—	—	
ラジエーターキャップ開弁圧 [kPa {kgf/cm <sup>2</sup> }]		基準値	74~103 {0.75~1.05}	←	93~122 {0.95~1.25}	
		限度	59 {0.6}	←	78 {0.8}	

※1. 塑性域締め付けのため点検不要

※2. メタルガスケット使用のため点検不要

(2/2)

項目		エンジン型式	1JZ-GE	2JZ-GE	1JZ-GTE
Vリブドベルト 張力点検	オルタネーター・ A/C・P/Sベルト		インジケーターにて点検 (無調整式)		
バッテリー液比重 (液温 20℃)		基準値	1.25~1.29	←	←
		液槽差	0.04未満	←	←
点火時期 [° BTDC] / [r/min]	T <sub>c</sub> ↔ CG (1JZ-GE) T <sub>11</sub> ↔ E <sub>1</sub> (除く 1JZ-GE) 端子間短絡	M/T	—	—	8~12/700 ± 50
		A/T	8~12/650 ± 50	←	←
	T <sub>c</sub> ↔ CG (1JZ-GE) T <sub>11</sub> ↔ E <sub>1</sub> (除く 1JZ-GE) 端子間開放	M/T	—	—	8以上/700 ± 50
		A/T	5以上/650 ± 50	←	8以上/650 ± 50
アイドル回転数 (Nレンジ, 無調整式) [r/min]		M/T	—	—	650~750
		A/T	600~700	←	←
アイドルCO濃度 [%]			1.0以下	←	←
アイドルHC濃度 [ppm]			800以下	←	←
バルブクリアランス (冷間時) [mm]		IN	0.15~0.25	←	←
		EX	0.25~0.35	←	←
シリンダーヘッド締め付けトルク [N・m (kgf・cm)]			塑性域締め付けのため点検不要		
インテークマニホールド締め付けトルク [N・m (kgf・cm)]			メタルガスケット使用のため点検不要		
エキゾーストマニホールド締め付けトルク [N・m (kgf・cm)]					
圧縮圧力 (250r/min時) [MPa (kgf/cm <sup>2</sup> )]		基準値	1.27 {13.0}	1.32 {13.5}	1.23 {12.5}
		限度	1.08 {11.0}	1.13 {11.5}	0.88 {9.0}
		気筒差	0.1 {1.0} 以下	←	←
スパークプラグギャップ [mm]		基準値	1.0~1.1 ※1	←	←
		限度	1.3	←	←
ラジエーターキャップ開弁圧 [kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )]		基準値	74~103 {0.75~1.05}	←	←
		限度	59 {0.6}	←	←

※1. 白金プラグ使用のため調整不要

6

## シャシー関係

(1/2)

項 目		車両型式	E-SX100 E-GX100 KD-LX100	E-JZX100 E-JZX101	E-JZX105
ステアリングホイールの遊び (ステアリングホイール外周にて) [mm] (油圧作動時)			0~30	←	←
フロントホイール アライメント	サイドスリップ (1mにつき) [mm]		0~5	←	←
	トーイン点検基準値 [mm]		1 ± 2	←	0 ± 2
	キャンバー点検基準値 [度]		0°00' ± 45'	0°00' ± 45' -0°15' ± 45' (ツアラ-S, ツアラ-V) (ルラーン, ルラーンG)	-0°15' ± 45'
	カスター点検基準値 [度]		5°45' ± 45'	←	4°30' ± 45'
	キングピンアングル 点検基準値(参考値) [度]		9°00' ± 45'	←	8°45' ± 45'
リヤホイール アライメント	トーイン点検基準値 [mm]		2 ± 2	←	←
	キャンバー点検基準値 [度]		-0°30' ± 45'	-0°30' ± 45' -0°40' ± 45' (ツアラ-S, ツアラ-V) (ルラーン, ルラーンG)	-0°15' ± 45'
ブレーキペダル [mm]	遊 び (負圧なしの状態)		1~6	←	←
	踏み残りしろ (踏力490N {50kgf}) (エンジンONの状態)		82以上	←	←
パーキング ブレーキ	レバー引きしろ [ノッチ数] (レバー式, 操作力196N {20kgf})		5~8	←	←
	ペダル踏みしろ [ノッチ数] (足踏み式, 操作力290N {30kgf})		5~7	←	←
	ブレーキの 効き具合	制動力	検査時車両重量の20%以上		
ブレーキライニングの厚さ [mm]	基準値		2.0	←	←
	限度		1.0	←	←
ブレーキドラムの内径 [mm]	基準値		176.0	←	←
	限度		177.0	←	←

(2/2)

項 目		車両型式		E-SX100 E-GX100 KD-LX100	E-JZX100 E-JZX101	E-JZX105
		前 輪	後 輪	基 準 値	限 度	基 準 値
ディスクブレーキ パッドの厚さ [mm]	前 輪	基 準 値		12.0	11.0	←
		限 度		1.0	←	←
	後 輪	基 準 値		12.0	10.0 12.0 (ツアラ-V, ルランG)	10.0
		限 度		1.0	←	←
ディスクブレーキ ローターの厚さ [mm]	前 輪	基 準 値		22.0	25.0 32.0 (ツアラ-V, ルランG)	25.0
		限 度		20.0	23.0 30.0 (ツアラ-V, ルランG)	23.0
	後 輪	基 準 値		10.0	10.0 16.0 (ツアラ-V, ルランG)	10.0
		限 度		9.0	9.0 15.0 (ツアラ-V, ルランG)	9.0
ブレーキの効き具合 (注) 前輪のすべての車輪がロックし、計測困難な場合は、その状態で総和に対して適合するものとみなす。		制 動 力	後 輪 和	軸重の10%以上		
			各輪左右差	軸重の8%以下		
			総 和	検査時車両重量の50%以上		
クラッチペダル [mm]	遊 び (ペダル上にて)			5~15	←	—
	切れ残りストローク			25以上	←	—
ホイールベアリング ハブ軸方向の動き量 [mm]		前 輪		0.05以下	←	←
		後 輪		0.05以下	←	←
ホイールナットの締め付けトルク [N・m (kgf・cm)]				103 (1050)	←	←
タイヤ残り溝 [mm]				1.6まで	←	←
タイヤ空気圧				別表参照		

6

タイヤ空気圧 (一般、高速とも同じ) [kPa (kgf/cm<sup>2</sup>)]

タイヤサイズ	前 輪	後 輪
185/70R14 88S	190 (1.9) (SX100) 210 (2.1) (LX100)	
195/65R16 91H	200 (2.0)	
205/65R16 94H	190 (1.9)	
205/60R16 91H	200 (2.0)	
205/55R16 89V	230 (2.3)	
225/50R16 92V	—	240 (2.4)

## 定期点検作業要領

ここに記載されていない項目については、トヨタ定期点検作業要領説明書（品番 69644, 1995 年 5 月発行）に従って作業を行う。

### 減速時排気ガス減少装置の機能

(4S-FE, 1G-FE, 1JZ-GE,

2JZ-GE, 1JZ-GTE)

#### フューエルカット装置

M/T車

- (1) エンジンを暖機後、ダッシュポットを作動させないようにし、インジェクターに指を当ててエンジン回転数を 3500r/min 以上まで上げスロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

A/T車

- (1) エンジンを暖機後、インジェクターに指を当ててエンジン回転数を 3500r/min 以上まで上げスロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

### 排気ガス再循環装置の機能 (2L-TE)

- (1) エンジン暖機後、アイドル運転状態で EGR バルブのパキュームホースに負圧がかかっていることを確認する。
- (2) エンジン回転数を約 1500r/min に上げたとき、EGR のパキュームホースに負圧がかかっていることを確認する。
- (3) 水温 55℃以下のアイドル運転状態で、EGR バルブのパキュームホースに負圧がかかっていないことを確認する。  
なお、パキュームホースにかかる負圧の確認は、EGR バルブ側のパキュームホースにパキュームゲージを取り付けて行う。  
パキュームゲージの取り付けはエンジン停止状態で行う。